

2019年度水上村農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

水上村の農業は、整備された水田には、水稻をはじめとしてメロン・イチゴを中心とした施設園芸作物が栽培され、水稻との複合経営が確立されている一方、一戸当たりの水田面積は60a程度と零細であり、10a未満の水田が点在している未整備田においては、自家消費用水稻の単作・野菜・保全管理等が多いのが状況である。農用地では借り手となる担い手がいるが、山間部の集落は高齢化がすすみ、担い手がない状況で、不作付地が定着している。

2 作物ごとの取組方針

村内約235ha（不作付地を含む）の水田について、適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、きゅうり、なすを中心とした振興野菜を転作作物の主体として位置づけ、作物生産の維持・拡大を図ることとする。また、麦、加工用米、飼料作物、そばについても産地交付金を活用し水田の利用率向上のため二毛作を推進する。

（1）主食用米

水上村の主軸となる作物であり、需要に応じた良食味米の計画的な生産・販売、生産履歴記帳の徹底、減農薬栽培による消費者の安心安全志向へ対応した栽培を推進する。作付品種は「ヒノヒカリ」が中心であるが、収穫適期が短いため、作期の分散・優良な晩期品種の導入を図る。また、各地区の学校農園事業を活用した食農教育に積極的に参加する。

（2）非主食用米

ア 加工用米

農地耕作の維持、地産地消の推進ために地元酒造業者の協力を得るとともに、多収性品種への転換による農業者の所得向上を重点的に取組むこととする。

（3）麦、飼料作物

麦は土作り・排水対策等の基本技術の励行、新技術の導入、機械の有効利用による品質・生産性の向上を図る。品種、品質、ロットといった多様なニーズに対応するため、生産者へ実需者の情報を提供するとともに、JAと連携を深め振興を図る。従来から栽培されてきた「ニシノホシ」から「はるしずく」へ品種転換を推進し、カントリーエレベーターを利用したバラ出荷を中心とする。

飼料作物は、畜産農家から安定供給が求められているため、二毛作での作付を推進する。

（4）そば

そばについては、水上村の特産物のひとつであり、農畜産物処理加工施設「山の幸館」における原料そばとしての出荷を推進する。また、近年の天候不順による収穫量が減少しているため、産地交付金を活用したほ場の排水対策の徹底の推進により捨て作り防止を図る。

(5) 高収益作物（園芸作物等）

収益性の高い施設園芸作物については、キュウリ・メロン・イチゴ・ナスを中心に複合経営の柱として位置づける。安定生産・品質向上を図るための確な作型の推進と、エコファーマー認証制度による安心安全な農産物を供給する。更に、補助事業を活用した施設整備を行うとともに、販路については契約取引・相対取引の拡大による消費地との結びつきの強化を行い、産地のブランド化・出荷経費の削減へとつなげる。

また、産地交付金を活用し重点品目に位置付けた施設園芸作物（きゅうり、なす、いちご、メロン、スナップエンドウ、アスパラガス、トマト、甘長とうがらし）及び地域振興作物について支援を行い作付面積の維持・拡大を図る。

(6) 不作付地の解消

現行の不作付地（約3ha）について、農家の高齢化・兼業化により懸念される優良農地の不作付地は担い手へ斡旋、基幹作業受委託を推進する。山間部の未整備田については、地域の担い手や営農状況をみながら非農地化も視野に入れ検討する。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	142ha , 678t	143ha , 684t	144ha , 688t
加工用米	1.4	5	5
WCS用稲	14	15	17
麦	1.9	3	3
飼料作物	17	18	20
そば	2	2	3
その他地域振興作物	11	13	14
野菜	11	12	12
うち施設園芸作物			
きゅうり	1	2	2
なす	1	1	1
いちご	5	5	5
メロン	1	1	1
スナップエンドウ	0.2	0.2	0.2
アスパラガス	1	1	1
トマト	1	1	1
甘長とうがらし	1	1	1

※主食用米の目標値（2019，2020年度）において使用した単収は 478 kg/10a

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）	目標値
				2018 年度	2020 年度
1	きゅうり、なす、いちご、メロン、スナップエンドウ、アスパラガス、トマト、甘長とうがらし	施設園芸作物助成 （基幹）	作付面積	4.8ha	5.0ha
2	なす、オクラ、甘長とうがらし、インゲン、トウモロコシ	地域振興作物 （露地野菜）助成 （基幹）	作付面積	0.2ha	0.5ha
3	麦・大豆・加工用米・飼料作物・そば・なたね（二毛作）	二毛作助成 （二毛作）	作付面積	19.0ha	20.0ha
			水田利用率	80%	(77%) 88%
4	加工用米	地域流通加工用米 出荷助成（基幹）	作付面積	1.4ha	5.4ha
			反 収	513 kg/10a	550kg/10a

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内として下さい。（目標値の上段括弧書きは変更前の数字。）